

導入の流れ

県市町村への手続き

◎計画・立案

規模やエネルギー資源の種類によって異なりますが、計画立案の段階で、おおよそ以下のことを検討する必要があります。

- ・導入目的と必要性の確認
- ・外的要因（法規制、支援制度等）
- ・内的要因（資源量、立地場所、経済性、リスク要因など）



◎調査

導入する場所の立地環境によって異なりますが、あらかじめ環境に対する影響調査も行いその影響を予測する必要があります。

- ・大気汚染、水質汚染、騒音、悪臭、振動など
- ・景観等に対する配慮など



◎実施設計

導入するシステムから実際の運用までを具体的に設計します。この段階で関連する法規制については、全てクリアしておく必要があります。

東北電力ネットワークへの手続き

- ・事前相談
- ・アクセス検討



国への手続き

- ・設備認定



金融機関との調整

- ・融資等



買取価格の決定

資金調達



◎建設工事

きちんとした工事計画に基づき行う必要があります。

試運転や検査は規模によっては、主任技術者や電気保安協会に依頼することになります。



◎事業開始

定期的に電気設備等の保守点検を行い、設備の運転・維持管理を行います。